

99. 当院における腫瘍出血に対する緩和的放射線治療成績

研究の概要

出血のある腫瘍への放射線治療により、止血効果が期待できます。しかし、どのような患者様に放射線治療が効きやすいかについて、今のところまだ十分には分かっていません。患者様が受けられた放射線治療について研究を行い、治療効果に関わる因子の検討を行います。

研究の目的と方法

腫瘍出血は、脊髄圧迫などと共に腫瘍学的緊急事態ですが、標準的な放射線の照射線量は存在しません。当院での止血目的の緩和的放射線治療成績を検討し、照射線量などの因子による治療成績比較を行います。

本研究の参加について

本研究への参加により患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを使わないでほしいと希望される方、その他、研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

2012年10月から2019年10月の間、止血目的の緩和的放射線治療を受けた全例を対象とし、照射終了時点での止血率を評価します。また、WHOscale改善、全生存率、急性期有害事象についても評価します。個人が特定できる情報や、ID番号は研究には利用しません。また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報が出す可能性は極めて低く、患者様に危険や不利益が生じることはありません。

実施場所

熊本医療センター放射線治療科

研究成果の発表

日本放射線腫瘍学会第33回学術大会にて発表予定

当院における研究責任者

放射線治療科 松本忠士

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 放射線治療センター

〒860-0008 熊本県熊本市中央区二の丸1-5

Tel 096-353-6501